

平成 30(2018)年度 事業報告書

特定非営利活動法人 イ・キューブ

1 基本方針

平成 30 年度は、環境マネジメント（エコステージ事業）、世代間交流事業（経験者の叡智を活かす事業、その叡智や経験を若者に伝達する事業）、安らかで健やかな持続可能な社会をつくる（安全・安心のまちづくり）事業を理念として継承し、新しい取り組みを行った。まず、健康まちづくりの支援を平成 30 年度も展開し、シンポジウムや会合の企画や運営に協力した。また、他の NPO 法人の活動との連携を模索し、健康ウォークや市民主体の健やかライフを高度化する企画と運営で、より市民ネットワークに近い活動をイ・キューブとして担うことを試みた。多世代型の学びなおし事業に関しては、こども食堂を巡るステークホルダーの協働における担い方を例に学びを継続したが、地域に根差した取り組みで会員を広く結集する上で大きな課題がある事が理解できた。健康や安らかなカラダとココロを育むという側面への焦点付けが重要である。

2 特定非営利活動に係る事業

（1）環境マネジメントの推進とエコステージへの協力

エコステージが社会価値の共創のモデルを展開していることから、大阪事務局で本部の新規事業の説明と協議を行う場に陪席し、地域経営における社会価値の共創モデルの動向に関して共有することを試みた。2019 年度は中部地区での取り組みを含め、新たな理事のもとでパイロット調査を試みることの準備を行った。

（2）世代間交流事業、および安らかで健やかな持続可能な社会をつくる事業

総会に合わせて、都市公園を健やかな暮らしを支える場として活用する試みに関する講演会（10 月 27 日）を開催し、また、震災からの復興まちづくりに関して、公開の会員懇談会（12 月 13 日）を開催した。また、環境や健康に関する NPO 法人や各種団体、学術団体との交流を試み、会員内外にその情報の提供を試みた。

（3）地球環境関西フォーラムからの調査業務の受託

地球環境関西フォーラムの解散にともない、2018 年度は収入を伴った調査受託は無かった。

3 補助金申請について

行政や各種基金への補助金申請は行わなかった。

以上